

Victoria Dickens

Japanese 2010 Speech

### Coming to Clemson

2021年はたいへんな年でした。その年はチリーズでバーテンダーとしてはたらいていました。「おきゃくさんたちとどどうりょうたちとしはいのひとたち」はうれしじゃないし、よくむずかしいし、チリーズではたらくはすきじゃありませんでした。その時、私はボーイフレンドといっしょにボーイフレンドのかぞくの家に住んでいました。家ではかじやかいものなどを全部私がしていたのでうちではやすめませんでした。ある日、でんわがありました。わたくしのおばあちゃんがガンで入院したのです。おばあちゃんは私を育ててくれた人だから、わたくしはびょういんでおばあちゃんにあいました。

おばあちゃんは六週間入院しなければいけませんでした。私はよくびょういんに泊りに行きました。おばあちゃんを一人にしたくなかったのです。おばさんとおじさんもサウスカロライナから、病院にとまりに来ました。おばさんとおじさんはサウスカロライナから、ミシシッピにかえりました。退院しても？はははおばあちゃんのせわができませんでした。だからすこしげんきになったおばあちゃんはおじさんとおばさんとサウスカロライナにひっこしました。おばあちゃんがひっこして私はかなしくなりました。でも、家族がおばあちゃんのせわをしてくれたから、私はうれしかったです。それで、私はこれからのよてい予定を考えました。私はボーイフレンドをミシシッピにのこしてだいがくにもどりたかったです。私は自分が何をしたいのか真剣に悩みました。

数か月あとで私はあたらしいしごとを始めました。おばあちゃんのいえをつりからかそくはかえりました。だいがくに戻りたかったので家族にたすけを求めました。おぼさんとおじさんは私に条件を付けました。おばあちゃんのいえをそうじしたり、しごとをやめるたり、わたくしのことたちをぞめたりしました。それで、よくうそをつくし、なにもしてくれないし、かれとわかれしました。ともだちに「さよなら」とった時、かなしくなりました。私はおばあちゃんとはちじかんぐらいサウスカロライナにうんでんしました。

人々はやさしいしきれいだし、私はサウスカロライナがすきです。クレムソン大学のはるのがっきに入学の申し込みをしました。二年間だいがくに行つてなかつたから、とてもきんちょうしました。私はじゅぎょりを自分ではらうつもりだったので、グリーンビルでバーテンダーのしごとをはじめました。じゅういち月にてがみをもらつてクレムソンに来ることが決まりました。とてもうれしくて私はなきました。2022 私は日本語のクラスでともだちにあつて、私の夢だつたにほんごの勉強をはじめました。「こんにちは！なまえはビクトリアデイケンズです。よろしくおにがいます！」